

# メリルリンチ ジャパンカンファレンス2007



2007年9月13日

**Eisai Co., Ltd.**

## 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。

# ドラマティック リープ プラン

(2006年度 - 2011年度)

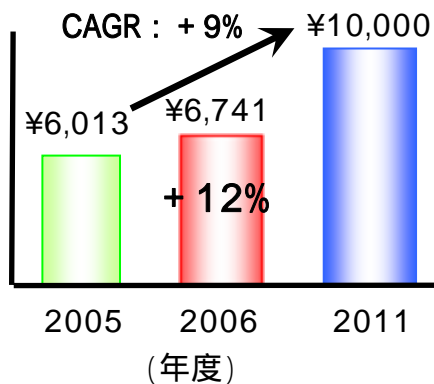
達成への自信が深まる

売上高	1兆円
研究開発費	2,000億円
営業利益	2,000億円
当期利益	1,200億円
EPS	420円
ROE	約16%
配当性向	約50%
DOE (純資産配当率)	約8%

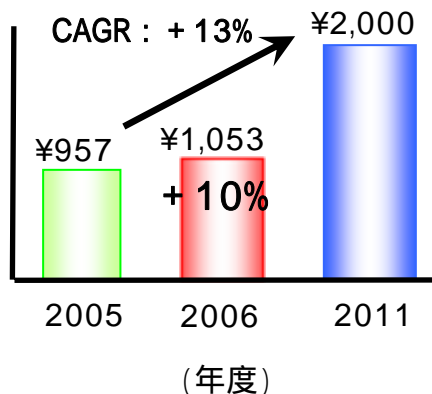
# ドラマティック リープ プラン

## 着実かつ計画通りの進行

### 売上高

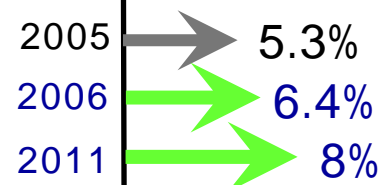


### 営業利益

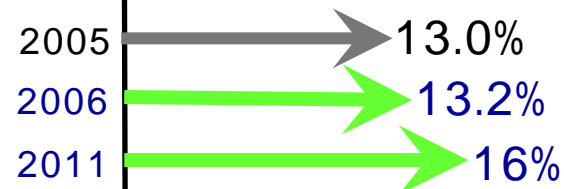


(年度)

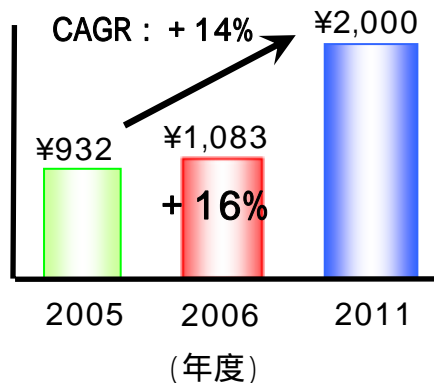
### DOE



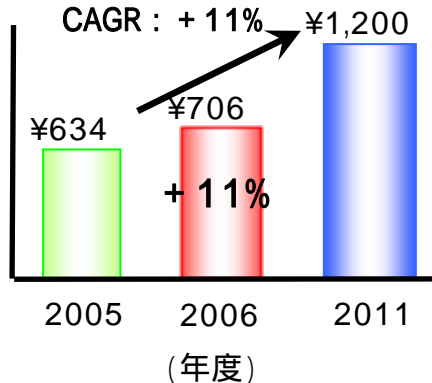
### ROE



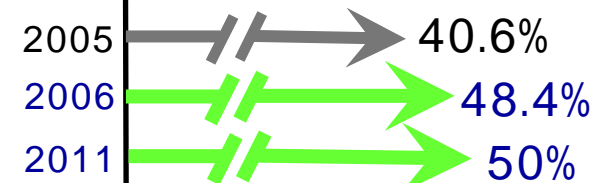
### 研究開発費



### 当期利益



### 配当性向



(単位: 億円)

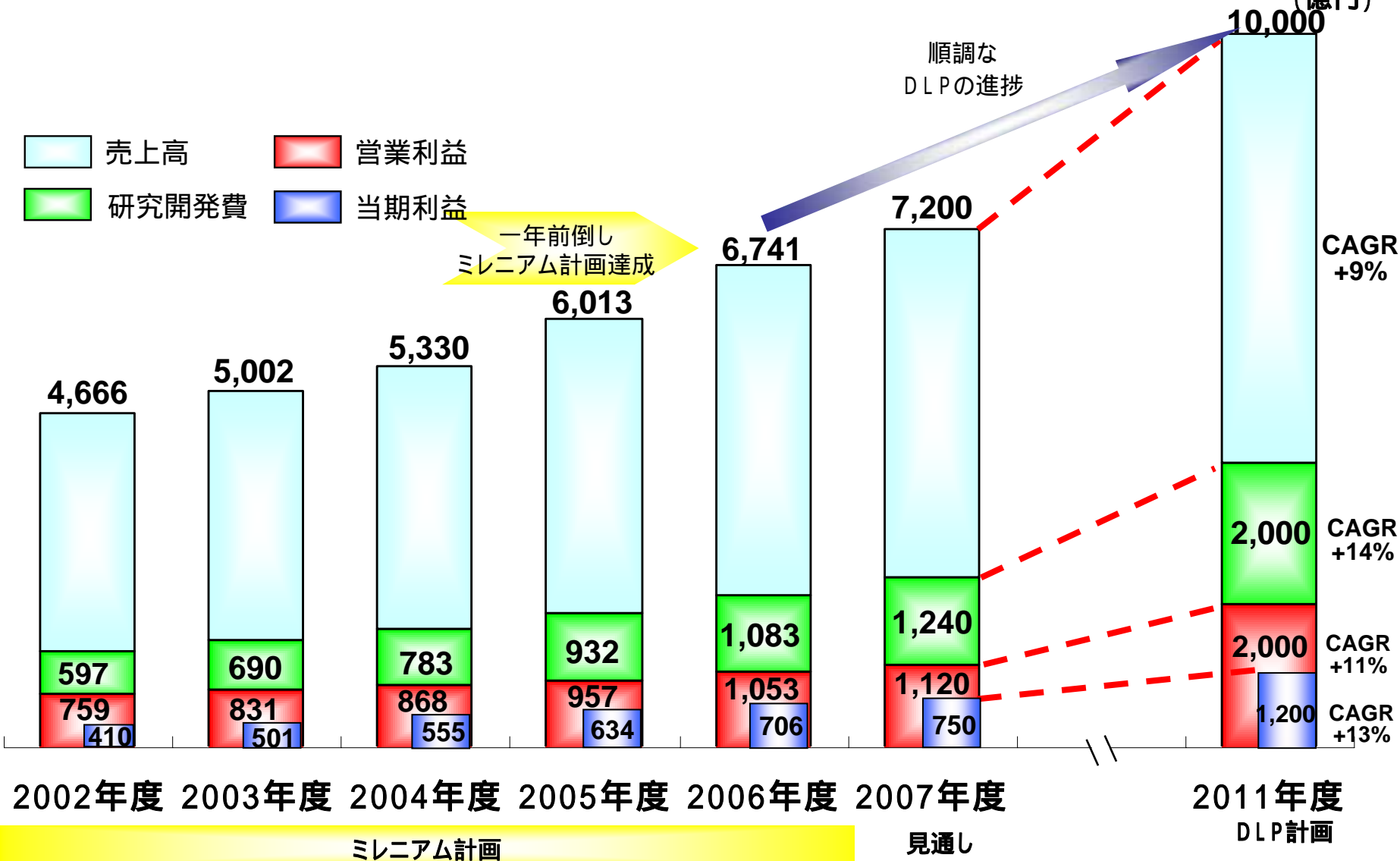
CAGR: 年複利成長率

# 連続する好業績が将来の成長を確実にする

2011年以降も揺るぎない成長を見込む。  
この成長は、現在の積極的な研究開発投資と  
戦略投資によって確保されるものである。  
現在、非常に好調なアリセプト<sup>®</sup>、パリエット<sup>®</sup>/  
アシフェックスの販売と、米国、日本、アジアに  
おけるドラマティック リープ プランを上回る  
売上によって、これらの投資を十分にまかなう  
ことができる。

# 連結決算業績のトレンド

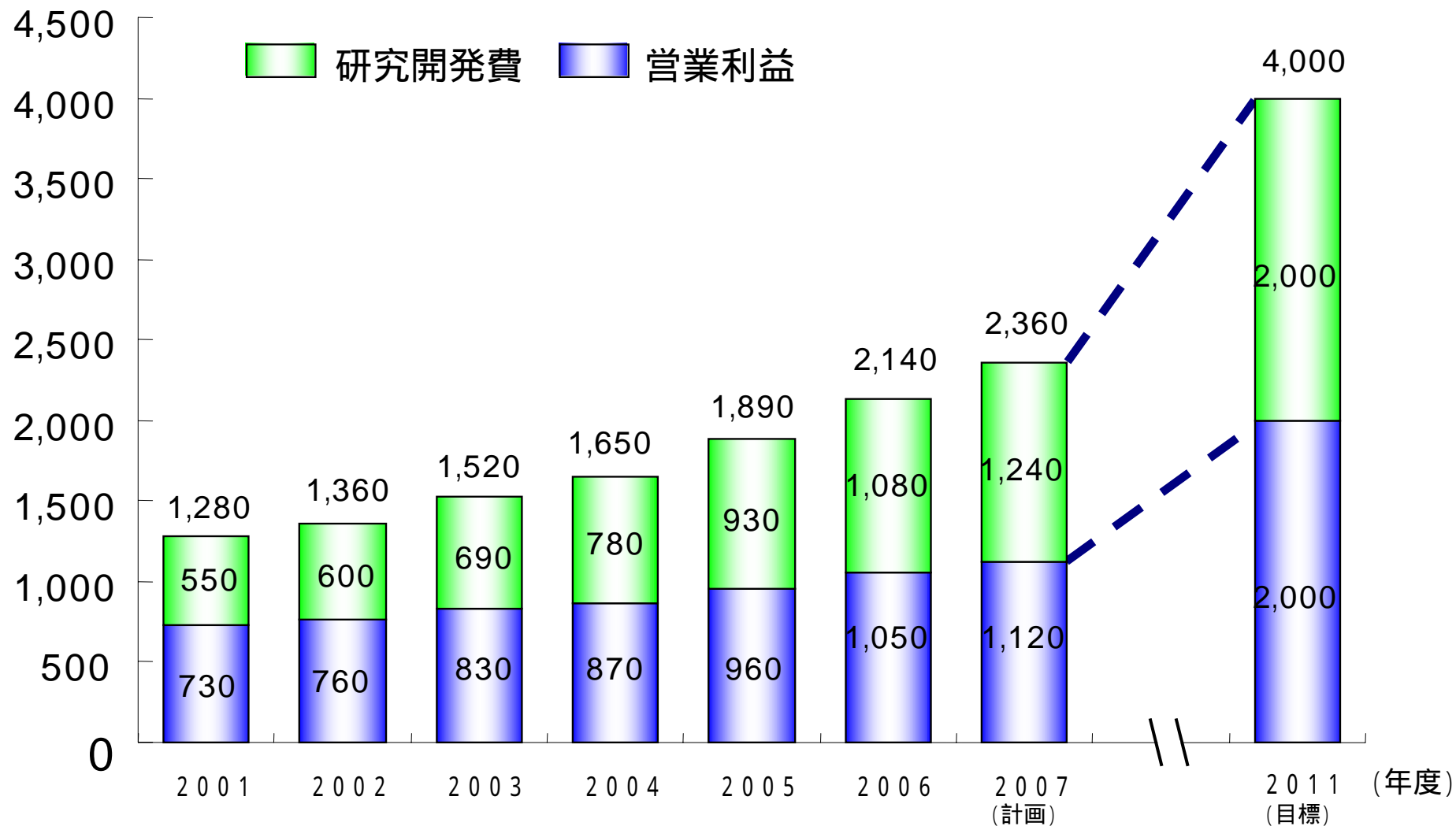
2006年度 売上高8期、利益7期連続の最高実績を達成 (億円)



# EBITRDの長期的成長

CAGRは2桁成長: 12.1%

(億円)



# 積極的な投資と効率的な キャッシュマネジメント

(億円)

科目	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度 1Q
当期純利益	365	410	501	555	634	706	193
資本的支出	272	219	287	490	370	520	462
減価償却費	153	180	185	224	250	268	73
現金および現金 同等物期末残高	1,218	1,273	1,461	1,424	1,833	1,711	1,196

## ゾネグラン製品買収

236億円

- ニューロサイエンスのフランチャイズを強化
- てんかん市場に初参入
- 欧州で10年間のデータ保護期間

## ライガンド社から製品買収

229億円

- 4つのオンコロジー製品によるオンコロジービジネスの開始
- オンコロジースペシャリストのEisai Inc.への移籍

## モルフォテック社買収

373億円

- ガン領域における抗体技術と抗体パイプラインの取得
- 低分子医薬に加えバイオロジクスを含む研究開発の実施



# 将来に向けた積極投資 (1)

- E7389 乳がん
- E2007 パーキンソン病
- E5564 重症敗血症
- D2E7 関節リウマチ
- クレブジン 慢性B型肝炎

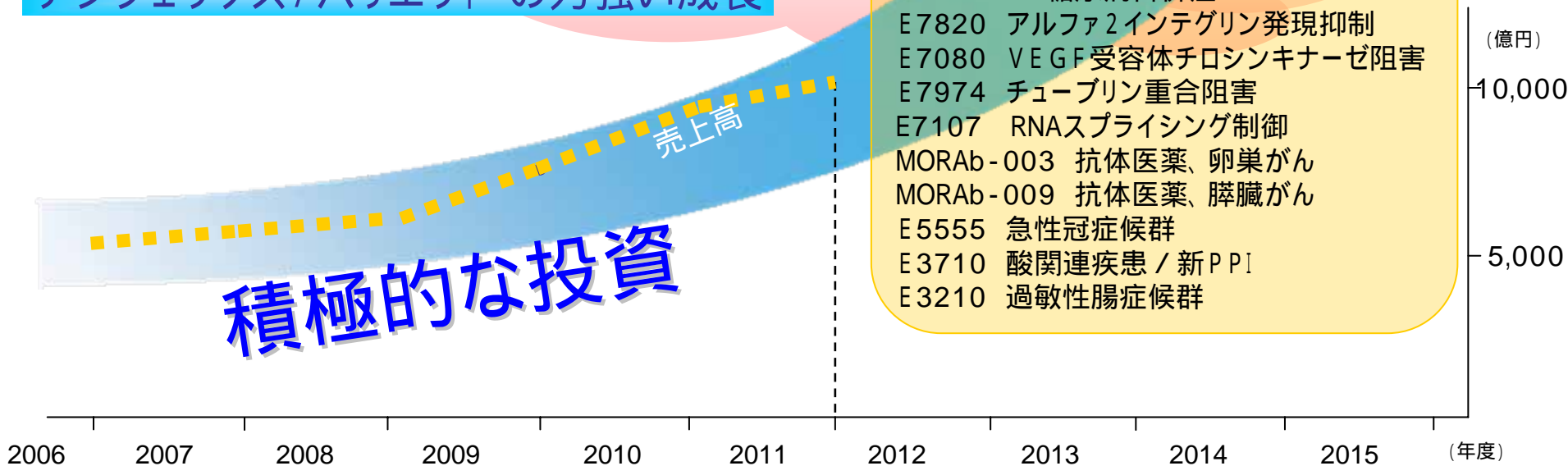
継続的に革新的な  
新製品を発売

グローバルでのアリセプト®、  
アシフェックス/パリエット®の力強い成長

- E2012 アルツハイマー型認知症
- AS-3201 糖尿病合併症
- E7820 アルファ2インテグリン発現抑制
- E7080 VEGF受容体チロシンキナーゼ阻害
- E7974 チューブリン重合阻害
- E7107 RNAスプライシング制御
- MORAb-003 抗体医薬、卵巣がん
- MORAb-009 抗体医薬、膵臓がん
- E5555 急性冠症候群
- E3710 酸関連疾患 / 新PPI
- E3210 過敏性腸症候群

積極的な投資

売上高



ドラマティック リープ プラン (2006年度~2011年度 中期戦略計画)

更なる『リープ』(2012年度~)

# 将来に向けた積極投資 ( 2 )

## 新規化合物

### ニューロサイエンス

E 2 0 0 7 <AMPA受容体拮抗剤>  
 パーキンソン病  
 神経因性疼痛  
 てんかん  
 片頭痛予防  
 多発性硬化症

E 2 0 1 2 <ガンマセクレターゼ修飾剤>アルツハイマー病

AS - 3 2 0 1 <アルドース還元酵素阻害剤>  
 糖尿病合併症, (スケジュール改定中)

### オンコロジー

E7389 <微小管伸長阻害剤>  
 乳がん  
 非小細胞肺癌  
 前立腺がん  
 肉腫

E 7 8 2 0 <インテグリン 2発現抑制 > がん

E 7 0 8 0 <VEGF受容体チロシナーゼ阻害>  
 がん

E 7 9 7 4 <チューブリン重合阻害>  
 がん

MORAb - 0 0 3 <抗葉酸受容体 モノクローナル抗体>  
 卵巣がん

MORAb - 0 0 9 <抗メソセリンモノクローナル抗体>  
 膵臓がん

### その他 アンメットメディカルニーズ

E 5 5 6 4 <エンドキシン拮抗剤> 重症敗血症

E 5 5 5 5 <トロンピン受容体拮抗>  
 アテローム血栓症 急性冠症候群

E 3 7 1 0 酸関連疾患

E 3 2 1 0 過敏性腸症候群

D 2 E 7 <ヒト抗ヒトTNF - モノクローナル抗体> 関節リウマチ、乾癬、クローン病 (日本)

クレブジン 慢性B型肝炎治療剤 (アジア)

## ビジネスディベロップメント

ゾネグラン、プリアルト、フラグミン、イノベロン、エリル、グルファスト、ニューロブロック、ルネスタ

M & A モルフォテックの抗体、抗体技術、パイプライン

ライガンド 抗がん剤製品 (オンタック、タルグレチンカプセル、タルグレチンゲル、パンレチンゲル)、がん領域専門家

2006年度 | 2007年度 | 2008年度 | 2009年度 | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 - 更なる「リープ」

\* 申請予定時期は変更することがあります

# 新製品アップデート(1)

プロジェクト	作用機序	対象疾患	開発段階	申請予定時期
E2007 ペランパネル	AMPA受容体拮抗剤	パーキンソン病	3つのフェーズIII スタディー実施中 301スタディーは臨床フェーズ完了、302スタディーは エンロール完了	2007年度
		神経因性疼痛	フェーズII POCスタディー開始	
		てんかん	フェーズII POC達成 高用量を含めたフェーズIII スタディー準備中	
		片頭痛予防	2mgでのフェーズII スタディー完了 さらに高用量での試験を検討	
		多発性硬化症	フェーズII POCスタディー準備中	
E7389 エリブリン	微小管伸長阻害剤	乳がん	サブパートH申請用フェーズIIb(サードライン)実施中 セカンド/サードラインのフェーズIII 実施中 (Full development)	2007年度3Q (サブパートH) 2009年 (欧州サードライン) 2010年度 (セカンドライン)
		前立腺がん	フェーズII POCスタディー エンロール完了	
		非小細胞肺がん	カルボプラチンとの併用でのフェーズIbスタディー実施中	
		肉腫	フェーズII POCスタディー実施中	
		がん	日本でフェーズIスタディー実施中	
E5564 エリトラン	エンドキシン拮抗剤	重症敗血症	フェーズIII 実施中 エンロールメントは順調に進行中(目標:250サイト、 2000症例、中間解析に1500症例) ファストトラック指定(FDA)	2009年度
E5555	トロンビン受容体拮抗剤	急性冠症候群 アテローム血栓症治療剤	サルでの試験における安全性への懸念は払拭された フェーズII スタディー再開	2012年度

# 新製品アップデート(2)

プロジェクト	作用機序	対象疾患	開発段階	申請予定時期
E2012	セクレターゼ修飾剤	アルツハイマー型認知症	高用量投与群のラットで水晶体の混濁が認められたため、フェーズ 中断中 水晶体混濁に関する無影響量の検証と毒性のメカニズム解明のため、前臨床試験を実施中 2007年度中にフェーズ 試験再開を計画 バイオマーカー とフェーズ 、 スタディのadaptive designを活用して、臨床試験を加速する	2011年度
AS-3201	アルドース還元酵素阻害剤	糖尿病合併症	米国でのフェーズ / と、日本のフェーズ スタディ完了 高い安全性 新しい臨床試験を計画中	
D2E7	ヒト抗ヒトTNFモノクローナル抗体	関節リウマチ	2005年12月に日本で申請済	
		乾癬	フェーズ / スタディ完了、日本での申請準備中	2007年9月
		クローン病	フェーズ / スタディ準備中	2009年度

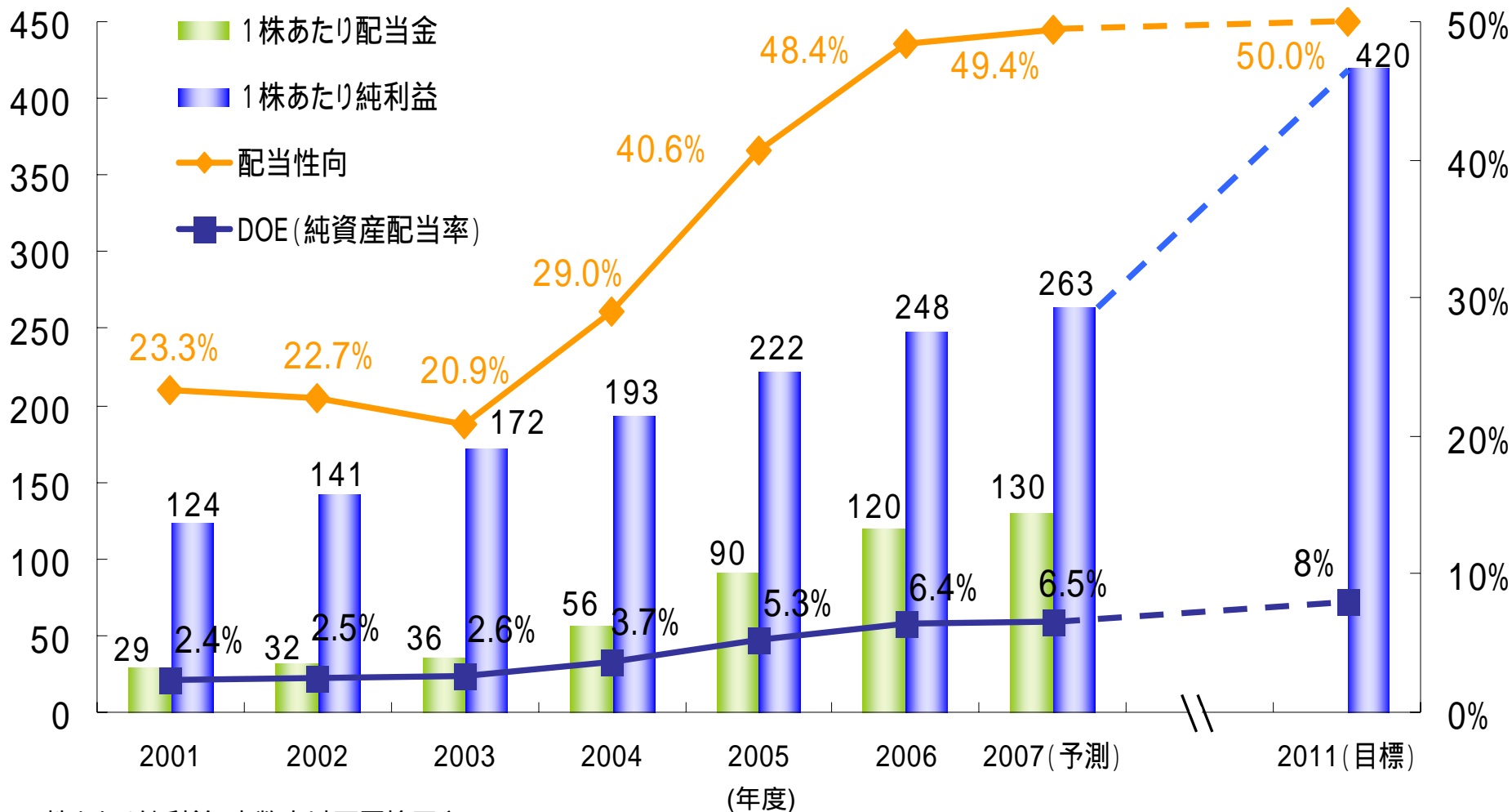
プロジェクト	剤形	対象疾患	開発段階	申請予定時期
アリセプト	徐放製剤	アルツハイマー型認知症	最高血中濃度(ピーク)を高めることなく、AUCを最大化するための、23mg徐放製剤を用いたフェーズ スタディを開始	2009年度
	パッチ製剤	アルツハイマー型認知症	フェーズ スタディ準備中 高いコンプライアンスと利便性をめざす 目標:1週間1回貼付	2009年度
パリエット/ アシフェックス	長時間作用型製剤	酸関連疾患	フェーズ 準備中	2009年度

# 継続的かつ積極的な株主還元

DOE目標値は8%レベル(2011年度)

(1株当たり配当金、  
1株あたり純利益:円)

(配当性向、DOE: %)



1株あたり純利益: 小数点以下四捨五入